

数学科 学力調査から授業改善へ

1 学力調査の推移

(1) 現1学年 **本校** (全国平均) *実施せず

観 点	関心・意欲	見方・考え方	技能	知識・理解
/	/	/	/	/

(2) 現2学年 **本校** (全国平均)

観 点	関心・意欲	見方・考え方	技能	知識・理解
H24年7月 都学力調査	95.7% (93.5%)	48.6% (55.1%)	57.5% (45.6%)	62.2% (59.5%)
H23年5月 学力調査	64.4% (62.9%)	71.7% (68.4%)	76.9% (75.7%)	77.2% (78.9%)

(3) 現3学年 **本校** (H22, 23 は全国平均 H24 は区平均)

観 点	関心・意欲	見方・考え方	技能	知識・理解
H24年6月 区学力調査	59.3% (55.4%)	60.8% (56.2%)	72.7% (70.3%)	67.6% (64.3%)
H24年4月 全国調査A	/	/	76.2% (69.8%)	63.0% (57.8%)
H24年4月 全国調査B	/	52.6% (41.8%)	85.9% (75.0%)	95.6% (89.0%)
H23年5月 学力調査	63.8% (54.3%)	61.0% (52.7%)	69.3% (59.3%)	70.0% (62.4%)
H22年6月 学力調査	70.6% (67.4%)	77.2% (74.8%)	83.9% (78.8%)	83.8% (78.8%)

2 結果分析と考察・課題

(1) 第1学年

*学力調査を実施していないので、省略。

(2) 第2学年

都の学力調査で昨年と問題や分析の傾向が違っているため、経年では比較できないが教科内容の観点別では「見方・考え方」、読み解く力では「解決する力」が不足している。都平均と比べると「技能」が身につけてきているが「見方・考え方」の力が不足している。

(3) 第3学年

ほとんどの観点で達成度が60%以上となっており、既習事項については概ね身につけていると考えられる。また、全国調査B問題でも無解答率は10%台にとどまり、自分なりに考えようとしている生徒が多い。問題の難易度も影響しているが、技能の達成度が70%となっており、授業内での小テストなどの取り組みを継続することが必要である。

3 課題解決のための手だて

(1) 第1学年

(2) 第2学年

学力支援講師と連携を図り、理解に時間がかかる生徒には個別に指導していく。基本的な内容について、知識・理解・技能の定着をはかる。じっくりと考える時間を確保し、発展的な問題への取り組みも充実させるようにする。

(3) 第3学年

基本的な内容については、ドリルを活用して、理解の定着をはかる。また、新しい単元を学習する際は、今までに学習したことの振り返りを行い、学習内容の関連性を明確化する。学習意欲は高いので、課題学習の取り組みなどを充実させる。